

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



さとる い 伊集 悟 議員

子どもを一番に大切する こともまんなか西原町を！

問 本年度から学童クラブの家賃補助が始まったが、導入状況は。保護者の負担軽減はどうか。

町長 12クラブが実施し、月額利用料金は平均で約3,100円の負担軽減が図られている。今後とも保護者の負担軽減を図っていく。

■施政方針及び町政運営について聞く

問 都市基盤整備について国の地方創生伴走支援制度を活用していく考えはないか。

町長 今、国の機関と調整中で職員を派遣することで交流を持ち、そこで得た知識を西原町に反映できないか協議をしている最中である。都市基盤整備事業については良い事だと考えているので前向きに進めていく。

問 琉大病院の跡地利用について一時活用の提言を行う考えはないか。

町長 事業がなかなか前に進まない状況にあり、副知事と協議をしながら何らかの形でアクションを起こせないう検討しているところである。



たか かつ 勝貴 議員
やま しろ 山城

■認知症予防、早期発見、 早期介入を

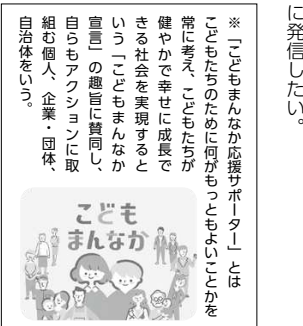
問 認知症の予防、早期発見の一つとして地域住民が無償で物忘れ検診（物忘れ外来）が受けられる仕組みが必要ではないか。

福祉課長 県外の先進的な取組や県内他市町村の取組も確認し検討したい。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

問 こども家庭庁は、こどもの利益を第一に考える「こどもまんなか社会」の趣旨に賛同する※「こどもまんなか応援サポーター」の参加を広く呼び掛けている。本町もぜひ参加を。



※「こどもまんなか応援サポーター」とはこどもたちのために何かもっともよいことを常に考え、こどもたちが健やかに幸せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らアクションに取り組む個人・企業・団体、自治体です。



あら た そう しん 新田 宗信 議員



琉大病院跡地の一時活用の提言を！

■虚弱高齢者を把握し介護 予防の促進を

問 自治会に加入せず、いいあんべー共生事業にも参加のない住民へのフレイル予防として町の公式LINEを活用したフレイルチェックを実施し、健康ポイントを付与する取組みも必要ではないか。

福祉課長 SNSなどを利用したフレイルチェックは、今後の課題としたい。

■子育て環境の充実を

問 子育て短期支援事業（ショートステイ）への取組状況は。

福祉部長 子育て短期支援事業は取組めていない。実施施設等の確保が課題である。

■子どもの心身を傷つける体罰を西原町からなくそう！

本年度の体罰事案の内容は。

問 教育総務課主幹 朝の挨拶運動で生徒の態度に対し、教員が胸ぐらをつかんんだり、大声で叱責した等の事案。違法な体罰は時代錯誤であり、逆効果ともいわれる。なぜなくせないのか。

教育長 不適切な指導は児童生徒の尊厳と権利を著しく侵害し、心身に重大な影響を与えるだけでなく、児童生徒や保護者からの信頼を著しく低下させ、安心、安全な学校生活を脅かすため断じて許されない。今後、再発防止に向けて信頼される学校、教師を目指して、粘り強く指導、助言していく。

問 西原まつりに小中学生によるエイサーの演舞を取り入れる考えはないか問う。

総務部長 今回のまつりにおいて出演時間を確保することは厳しいものと考えている。

問 防犯対策としての南小学校裏の農道への防犯灯の設置について。

土木課長 南小学校裏門辺り、現場を確認して調査を行い土木課において検討していく。



西原南児童館裏の農道に防犯灯を！

■徳佐田橋周辺の環境整備について

問 徳佐田橋周辺の排水対策について聞く。

町長 徳佐田橋周辺の側溝が土砂で埋まり機能していない状況は把握している。早急に修繕を行っていく。

問 徳佐田橋周辺のごみ不法投棄問題について対策を聞く。

町長 徳佐田橋周辺の高速道路、側道におけるごみの不法投棄は土木課の草刈りの際に、環境安全課と連携し撤去作業を行う。

■地域伝統行事への一部助成を

問 網曳きなどの地域の伝統行事への一部助成、補助は検討可能か。

総務部長 物価高騰により、地域の伝統行事が厳しい状況に直面している。

■食べ残しのないおいしい給食を！

問 摂取カロリーが国の摂取基準量を満たさない要因は価格高騰と好き嫌いによる食べ残しの影響もあるというが、食べ残しのない人気メニューの多用を検討しては。

教育総務課長 栄養バランスがあっても食べ残しては意味がないので今後議論したい。

問 食べる時間を十分に確保することも考えてよいのでは。

教育総務課主幹 先生と生徒も時間をしっかり守り、中学校の給食委員会や児童会も連携し、給食活動を進めたい。

その他の質問

○いじめをしない・させない・見逃がさない・許さない西原町へ

問 町内空き家状況と独居老人の世帯数と支援対策を聞く。

建設部長 令和5年度の調査にて81件の空き家を確認している。

福祉部長 独居老人の世帯数は令和5年4月1日現在1,975件で、住まいについての相談の際は、町営住宅及び県営住宅などの情報提供を行い、その他、配食サービス事業や在宅高齢者等緊急通報システム等の支援を行っている。

その他の質問

- 町職員の自治会加入率について
- 教育環境の充実について
- 農福連携と学校給食の食材の確保について
- 三陸卸却施設の設置について
- 平岡ハイツ内の集会所用地について
- モノレールの延伸及び駅等の再開発について
- 里道、道路網及び排水施設の整備について
- 焼却施設の設置について
- 消防・防災体制等の確立について

■西原陸上競技場の安全管理について

問 西原町陸上競技場の安全対策について。7月下旬、陸上競技場のメインスタンドから子どもが転落する事故が起こった。事故後の対応と今後の対策について聞く。

教育部長 事故後、臨時的にカラーコーンにて、落下危険の注意喚起を行っている。今後は既存の手すりにワイヤーメッシュを速やかに取り付けることで事故の再発防止に努めたい。

その他の質問

- 障がい者相談支援事業について
- ペイントサポート、パートナーシップの取組について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



市長 島田 孝人
議員 島田 孝人

18歳までの医療費無償化 実現に向けて

問 現在本町で行っている15歳までの医療費無償化を18歳まで引き上げると必要財源は？

答 健康保険課長 令和6年度試算で年間、2,600万円の増額となる。財源を確保するために、基金の運用等は可能か。

陸上競技場で起きた転落 事故!!

問 当該施設のメインスタンドの柵の隙間から子どもが転落した。日常点検や危険個所の対応を聞く。
答 教育部長 職員や芝管理職員、夜間は、警備員が目視確認している。目視ではなく、点検簿で情報共有するべき。以前予算化したかったが財政難でできなかった。そこ

も共有されていない。
生涯学習課長 指摘の通り、書面が残せる方法を考えてきたい。



陸上競技場の転落事故。
日常点検や危険個所対応は？



議員 森本 正成
議員 喜納 昌盛

町政全般について

問 防災対策事業（防災無線機能強化整備）の現在の進捗は。

答 総務部長 資機材の価格特別調査を行っており、実勢価格が算出された後、速やかに入札等を行う。

環境安全課長 10月頃を予定に、一般競争入札を検討。ホームページ等

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

問 企画財政課長 基金を運用して債権を購入するのは難しい。
18歳までではなく、1歳ずつ拡充するのは可能か。

答 町長 対象年度を1年ずつは考えられるが、給食費やその他子育て支援等トータルで考えたうえで検証する必要がある。

災害避難所指定されている 小中学校に空調設備導入を

問 避難所指定されている小中学校に対しての空調整備について、国から補助等があるが本町教育委員会の考えは。

答 教育総務課長 避難所としての機能強化、熱中症対策ふくめた教育環境の充実ということで必要性が高まっていると認識している。今後空調設備についても計画的に取組んでいかなければならない。



議員 前原 史郎
議員 真栄城 哲

担当課外の職員が事業を 進めるの？

問 関東学院大学連携事業について、当然、担当課の職員が窓口になるべきと思うが、部署外の一職員が個別で行っていることがわかった。本町の事務分掌は、部署外でも構わないのか。

答 副町長 たまたまその職員が繋がりが深かった。しかし、その部分は、

問 周知。
「公共交通協議会」の立上げと、地域交通計画の策定に向けた準備は。

答 総務部長 令和7年4月1日に立上げ、策定に向け各種調査業務を行っている。

問 企画財政課主幹 委託業者も決まっております。計画自体は令和8年に策定予定。

問 町民交流センター管理運営業務の次年度における対応は、具体的に検討されているのか。

答 教育部長 令和7年度は一般競争入札による一年間の委託契約。次年度に向け複数年にするか現在検討中。

ばならない課題だと考えている。

Park・PFI制度の 導入について

問 Park・PFIの可能性について本町の考えは。

答 町長 実施の可能性の高いと思われる東崎都市緑地公園（イルカ公園）において、簡易的な※サウンディング調査を行いたいと考えている。

問 企業に丸投げのサウンディング調査ではなくて、実際に足を運んでいる町民や、利用者に声を聴くことも大事ではないか。

答 ※サウンディング調査とは
地方公共団体が有する土地や施設の活用方法について民間事業者から広くアイデアや意見を聞くために行う調査。

修正する必要がある。

飽和状態の包括支援センター!!

問 現在、飽和状態の中、施設の増設、人的配慮、本町が直営することも考えられるが。

答 福祉課長 施設増設は、予算を伴うため無理。人員体制については次年度の予算計上に向けて調整して行きたい。直営については、町村殆んどが

直営であるので、検討したい。

西地区は最短で「13年後」か!!

問 R7年3月末時点の残工費が約49億円。事業費に充てられる保留地処分金約14億円とR7とR8年度の予定事業費8.8億円を差引き約26億円。現在、沖縄県からの配分額が約2億円で、割り算すると約13



町民交流センター（さわふじホール）
管理運営業務について

問 「国立大学法人琉球大学上原地区キャンパス跡地利用推進協議会」の新たな動きは。

答 総務部長 現在の内容よりさらに具体的な計画策定に向けコンサル業者へ委託の準備を進めていると聞いている。

町長 一番のネックは、コンサルに委託してからスタートする状況で

問 都市整備課長 調査内容としては、事業スキーム等に関して民間事業者と対話により意見の取集や新たな提案を予定している。可能な限り利用者の意見を反映していきたい。

町長 にぎわいのあるような施設になるように企業とも調整しながら、ふるさと納税、企業版などいろんな形を取り入れながら実現していきたいと考えている。

その他の質問

○ 小中学校の運動場の整備
○ 災害時の非常用電源等設備の整備管理
○ 町内全体における避難訓練
○ 水道事業会計決算状況並びに今後の見通しについて
○ 区域整理完了時の本町の税収増について

年である。当然、住民説明会は、行うということでしょうか。

問 都市整備課主幹 住民説明会を含めて検討していきたい。

答 事業計画の変更も含めて、地権者に対して、検討ではなく行うべきだと考えるが。

建設部長 当然、事業計画の変更は、地権者へ周知しなければならぬので、説明会をやる方向で検討していきたい。

きたい。

その他の質問
○ 職員の疾病対策について
○ 都市マスタープランの改定について

問 戦後80年、戦争体験の語り部がやがていなくなる時代がそこまできています。歴史の教訓を踏まえて平和教育をより深化させ実践すべきと思うが町長の考えは。

町長 6月の平和月間には町の施設で平和資料展や企画展を開催、「平和の約束二〇二五」を屋外で開催。平和の語り部アーカイブ映像保存活用事業で、多くの戦争体験者の話を記録し、町民の意識の一層の高揚と継承、恒久平和の実現を目指していきたい。

その他の質問
○ 2025年度の県内最低賃金が1円増の1,013円になる。町当局が対処すべき事はあるのか

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。



おおしろ せいいち
大城 誠一 議員



■西原町地域包括支援センターの運営について

問 西原町地域包括支援センターは、介護保険法に定められた地域住民の心身の健康の保持および生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目指す。

問 地域包括支援センター委託契約先である社協と運営する上での課題について協議したことはあるか。

町長 7月25日に社協と担当課において意見交換を実施している。そこでは相談内容の複雑化や長期化のケースに対応に苦慮している点や人員体制を強化したい旨の意見が出され、課題を共有した。



西原町地域包括支援センター

■西原南小学校3年1組のクラス運営について

問 西原南小学校3年次クラスは普通学級に31人、支援学級12人、交流学級で授業を行うとき43人となる。このクラスの運営は支障なくできているか。

教育部長 3学年のクラス運営に

その他の質問

○中学校学校給食国の損取基準達成ゼロ

■農政について

問 令和6年度のサトウキビ生産高は1042トンで激減している。生産者が高齢化し、後継者がいない。サトウキビ畑のほとんどが遊休地、耕作放棄地となっている中、サトウキビ生産者の戸数について聞く。

建設部長 令和6年度のサトウキビ農家戸数は119戸となり、対前年比較で22戸減少。



おおしろ よしひろ
大城 好弘 議員



問 遊休地、耕作放棄地の解消実績について聞く。

農業委員会事務局長 令和元年約2.5ヘクタール、令和2年度は2.5ヘクタール、令和3年度約3.5ヘクタール、令和4年度約2.6ヘクタール、

問 小波津川の橋梁工事が止まっているが進捗は。

問 農業振興の今後の取組について町長の見解を聞く。
町長 都市近郊型農業の育成、耕作放棄地や遊休地の解消、認定農業者や新規就労者等の育成、生産農家の経営基盤の安定化、関係機関と連携を図り、農業振興に努めていく。



サトウキビ生産者の戸数は？

問 農業専従者について

建設部長 沖縄県農林水産部農業関係統計により、基幹的農業従事者数は76名。

問 農業所得上位5者の金額を問う

産業観光課長 農業所得上位のデータは持合せていないので、農業生産出荷額で答弁する。令和5年度の生産額は、



遊休地、耕作放棄地の解消実績は？

令和5年度約1.9ヘクタール、令和6年度約2ヘクタールとなっている。

建設部長 今年度は対岸側の下部工工事に向け8月8日、入札を予定。指名業社全者辞退のため、入札不調。辞退理由について聞き取り調査を行い、再入札準備を鋭意進めている。



まえ さと こうしん
前里 光信 議員



■高齢者の福祉について

問 西原町では一人暮らしの高齢者は何人ほどいて、買い物をする際、どのような形でやっているのか。「買い物難民」と言われる言葉があるが、町当局は今後どのような対策法を考えているか聞く。

福祉部長 一人暮らしの高齢者は

■違法麻薬の乱用について

問 沖縄県内の中学生や高校生が違法麻薬に関わって、県警に補導されたとしてテレビで放映されているが、町内の子ども達の問題なかったか。

教育部長 西原町内の小中学生が

■各自治会のまつり等について

問 町長は各自治会のまつりに参加したと思うが、その感想を聞く。

町長 子どもからお年寄りまで幅広い層からの参加があり、地域の絆を強く感じた。「第二回西原まつり」はエイサーや獅子舞、棒術や旗頭の共演など町民が主役となる多彩なプログラムを企画している。



第25回西原まつりの様子

その他の質問

- 県道浦添西原線について
- 第46回西原町陸上競技大会について
- 沖縄科学技術大学院大学について
- 第5回西原まつりについて

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。



なか まつ かつむ 勤 議員

■子育て世帯の負担軽減！
18歳までの医療費無料化
の実現を！

問 中城、与那原、南風原など24市町村が無償化に踏み切っている。制度格差が与える影響と18歳までの医療費無償化がもたらす効果と必要性を問う。

福祉部長 安心して医療が受けら

れ、子育て環境の向上に寄与する。制度の違いは移住定住といった居住選択に影響を与える要素の一つになる。

問 火葬場建設計画が停滞し、近隣市町村の火葬場に依存せざるを得ない現状では火葬待ちによる移動費用・時間的負担も生じ、町民から不安や不満の声が上がっている。

問 火葬場建設計画が停滞し、近隣市町村の火葬場に依存せざるを得ない現状では火葬待ちによる移動費用・時間的負担も生じ、町民から不安や不満の声が上がっている。

総務部長 民間活用整備も建設時や財源の確保などの課題を考慮すると、本町単独での火葬場建設は厳しい状況。

■西原町と商工会が一体となつて地域活性化につなげる条例制定を

問 西原町商工会の設立50周年を契機とし、※中小企業・小規模企業振興基本条例を制定すべき。

問 本条例を制定するに当たっては周辺市町村の事例などを参考に検討したい。

※中小企業・小規模企業振興基本条例とは？
行政、中小企業者が協働で中小企業の振興を図ることを目的とした条例

■「命を守る基盤」水道料金値上げ反対！

問 物価高騰や実質賃金の低下が続く中で、公共料金の値上げは、生活者の負担であり住民からの理解を得ることは容易ではない。水道は誰も

準備はできているか。

福祉部長 医療的ケア児については、医療行為の行える看護師等の人員確保はできていない。事業開始後、受け入れ等の拡充について検討していく必要があると考えている。また、障害児や要支援家庭のこどもについては、面談時にこどもの状況を確認しながら、配慮すべき事項等について調整しながら行っていきたい。



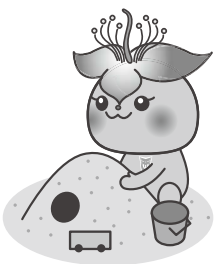
い けい ひろ こ 伊計 裕子 議員

問 2歳児が3歳になったら、どうなるのか。

問 国が示しているのは3歳の誕生日の前々日まで受け入れ可能となっているので、それまでの利用となる。

問 市町村の条例で、年度末まで利用できるようにできた市町村もあると聞いている。検討できないか。

問 現時点では6力月から



問 速度注意など注意喚起をする看板を早急に設置できないか。

土木課長 なるべく年度内に出来る様に頑張る。



よ な みね よし き 與那嶺 良樹 議員

■公民館の建替について

問 公民館の老朽化に伴う建替えについて。現状をどの様に把握し、行政はどう考えているか問う。

問 町では、地域コミュニティの活性化を図る上で公民館の必要性は高いと考えている。そして地域の自発的な取組みに対してサポートする考え

である。

問 何故地域公民館建設に公的資金を当てる事が出来ないのか問う。

問 現在、地域公民館建設に主に活用されている公的資金は、一般財団法人自治総合センターのコミュニティセンター助成事業と、町の自治会事務所建設等助成金がある。

問 自治総合センターからコミュニティセンター事業の2千万円と、町の単独事業の補助3百万円が現在できる予算処置。

問 建築資材や人件費等の高騰など行政所見を問う自治会で一億円前後の借入金を返済する事は困難であると思慮するが行政の所見を問う。

総務部長 建築資材等の高騰により

■町道の補修について

問 翁長から幸地向けての道路はカーブが多く速度抑制出来ず事故も発生しており滑り止め補修をお願いしたい。

問 今年度は予算が厳しく次年度以降に予算化し施工する考えである。



カーブが多く、スピードも出がちな
翁長・幸地線

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。



なが はま
長浜 ひろみ 議員

琉球大学病院跡地利用について

問 琉球大学医学部病院跡地利用についての進捗状況は。

町長 琉球大学医学部病院上原キャンパス跡地利用推進計画を策定され、具体的な内容の計画策定に向け、現在コンサルタントへの委託を行う準備を進めていると伺っている。文教の

まちにふさわしい文化的な環境と、風格を有する地区を形成し、事業の具体性が出た際は、様々な協議等ができるものと想定、地元の声を確認し、地元住民との調和、共存する施設、文教エリアとしてふさわしい人材育成ができる施設が望ましいと、協議会の中で伝えていきたい。

国道329号与那原バイパス北交差点について

問 与那原バイパス交差点の令和7年度進捗状況と与那原バイパス工事に伴って、我謝郵便局前が国道329号に向けて混雑している。我謝から国道329号に向け、右折、左折に、変更があるのかと不安の声を聞くが。

建設部長 与那原バイパスと接続する国道329号の与那原北交差点

西原南小学校駐車場について

問 西原南小学校の校舎裏側の体育館へ向かう道を、下においていくと、でこぼこで走りづらく、雨降りの日には大きな水たまりができ、車も走りづらく、人も歩きづらい。教育委員会としての対策は。

教育部長 西原南小学校体育館に向かう通路の状況は、学校からも要望があり、課題を認識している。当該通路は傾斜地で雨水が多く、何らかの対策が必要と考え、整備面積と雨水処理、



西原南小学校の体育館へ向かう通路が荒れている。対策は？

平和行政を質す

問 戦後80年事業の取組みを聞く。

町長 西原町戦没者追悼式平和資料展、激戦地だった西原、焼け野原からの80年、戦争体験者の証言、また6月23日に平和の約束2025年を開催した。

問 西原の塔の刻銘の人数を聞く。

町長 5,278名が刻銘されている。新たな刻銘者はいない。

問 平和宣言の予定を聞く。

町長 本町は昭和60年に西原町非核宣言を行っている。戦後80年の節目として沖縄を二度と戦場にさせない決意と、恒久平和を誓いホームページに

町長メッセージを掲載した。

西原南小学校特別支援学級問題を聞く。

問 特別支援員の増について町の見解を聞く。

教育部長 今実施している指導支援の質の向上の面から改善、充実に取り組みたい。

道路行政を質す

問 県道38号線と西地区接続について県側の工事は進捗しているが

PFI事業を開始した。本町も検討するという事だが、現状を聞く。

町長 現在情報収集を行っており、イルカ公園で簡易的なサウンディング調査を行いたい。

Park PFI事業を質す

問 那覇市は漫湖公園でPark

本町の状況を聞く。

建設部長 接続部分については、県が令和7年5月から新県道浦添西原線と、暫定供用区間の拡幅工事をしていくが、本町としては、県の工事に合わせたい。

問 接続の工事開始と完成時期を聞く。

建設部長 県の発注工事は、令和7年5月17日から11月12日までの工

事、町の発注工事は、令和7年8月18日から10月31日までの工事。

問 坂田交差点位置が、県都市計画審議会決定したが、町の考えを聞く。

建設部長 県と坂田自治会、町で協議してきた。今後も県と協議を進めたい。

議会活動

令和7年度町村議会議長・副議長研修会

全国町村議会議長会（渡部孝樹会長）は令和7年5月27日に東京国際フォーラムホールAで令和7年度町村議会議長・副議長研修会を開催しました。西原町議会からは大城純孝議長が参加しました。



大城純孝議長

研修会内容

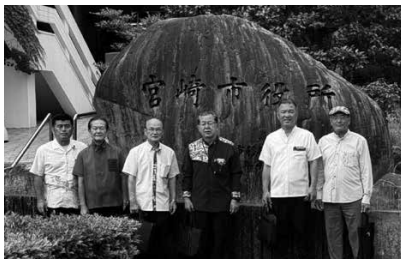
- 広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な「防災DX」内閣府政策統括官付参事官 松本真太郎 氏
- 平成からの災害に学ぶ復興・復興まちづくりの課題
—自治体実務の立場から—
明治大学名誉教授 青山 侑（やすし）氏
- 災害と議会・議員の役割
同志社大学名誉教授 新川達郎 氏

中部地区議長会県外視察

沖縄県中部地区町村議長会（大城純孝会長（西原町議会議長））は令和7年5月19日～22日に宮崎県を訪れ、視察研修を行いました。

主なテーマ

- （宮崎市）
○「宮崎市議会DXみやだん」の取組みについて
市民と議会との距離を無くすことを目的に、IT 技術（=DX）を使った参加型プラットフォーム
- 宮崎県防災庁舎および議場視察



▲宮崎市役所前の6町村議長一行

（日南市）

- 鉄肥城下（おびじょうか）町保存会の取組みについて
ITによる町民と議会の関係性強化、そして城下町保存会の取組み。

この宮崎県の2市には、先進的で活気ある取組みがありました。これらは西原町のまちづくりにも大変参考になるものであり、ぜひ推進していきたいと思います。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。